

校長日記（2月分）を紹介します。

● 2月1日（水） ～ 最高の ～

今年最高の朝焼け（日の出前の10分間程度）で2月がスタートしました。7時、ある職員が、最高の「おはようございます！」で登校してくれました。「今日も（喜志小）生活楽しもう！」と声をかけると、「書いていましたねえ」と応じてくれました。私が毎朝書いている、職員室前のホワイトボードの『（職員向けの）呼びかけ』（こどもたちやお客さんも自由に読めます）を読んでいたのです。思ったことや出来事などを自由に書かせてもらっているのですが、読んでくれた人がいる！もうこれで私、今日の（喜志小）生活は最高の気配になるんですね。さらに楽しい事、嬉しい事を発見していくために、とにかく動くんですね。帰宅時「今日も最高の一日、楽しませてくれてありがとう！」と心の中でつぶやくために……。7時10分、今日もまたいいお茶はいりました。

● 2月2日（木） ～ 『楽しむ』 ～

昨日の6時間めはクラブ活動（4～6年）でした。開始前、必要な道具を取りに、いくつかのクラブの部長さんらが職員室へきてくれました。その時の『声』や『表情』が実にいいですね。さあ、やるぞ！って感じでね。外を見ると、各クラブの場所へダッシュで移動していくこどもたちの『姿』があって、これがまた実に嬉しそうなんですね。そしてもうこの時点で、実際の活動の様子が想像できるのですが、見に行くと、ほら！ 嬉々としてやっていました。やっぱり、自分も動いて、みんなとともにやることを『楽しむ』というんですね。今1年生が合体（2学級合同体育）で、なわとびやサッカーをしています。やはり楽しんでます。体調をくずして見学している子は、残念そうでした。早く良くなってね。

● 2月3日（金） ～ 挨拶はリアルに ～

午前中、本市の月例校長会にて、開会の挨拶をさせていただきました。冒頭に、「いよいよ年度末ということで、みなさんお忙しくされている！とは、思っております。」と話すと、ニヤツ、キョトン、エツ、さまざまな校長先生の表情が見て取れました。「そもそも、校長先生が忙しい学校ってどんな状態なのでしょうか？」と続けると、そこは教員としてもベテラン揃い、だいたいの察しはつけていただいているようでした。「でも、忙しいという漢字は、心（こころ）を亡（なくす）です。心を亡くしては困りますよね。」と括らせていただきました。いろいろなところで挨拶をさせていただく機会があります。この間は、Zoomなどを使ってのオンラインで行うことが校内外問わず多かったのですが、やはり実感が伴わない、空気感が湧かない。話の内容の是非はさておき、やはり対面（リアル）でないのと、思いました。午後は2年生で授業参観・懇談会、1年生でとんとんスタディ（放課後学習教室）が行われます。もちろんどちらも対面（リアル）です。

● 2月4日（土）

朝から用事があって車を走らせている時、「あっ」と気づいたこと、それは毎週金曜日に発行している『週末50』。これは職員のみなさんに、毎週金曜日の朝、みなさんが登校するまでに、各机に50枚の通信を置いておくことなのです。土日で少しでも読んでもらえたら（もちろん次週でも全くいいのです）と思ってやっていますが、昨日すっかり忘れていて、今（午後2時）、学校に登校して配り終えました。ついでに、週末のひとりひとりの机上进行を拝見いたしました。

● 2月5日（日）

特に予定はないので、買い物（週末定例）に行く以外は家でのんびりかな。

● 2月6日（月） ～ あかんかなあ？ ～

昨日朝からどうも喉が痛い。唾をのみ込むのにもひと苦勞。さりとて熱はなし。昔から喉はあまり強くなく、よく耳鼻咽喉科へ行かせてもらったもんだ。インフルエンザも少しピークは過ぎたようだし、まあぼちぼち様子をみながらいくとしますか。扁桃腺はらしてしまっただかな。（このあと、早退させていただきました。）

● 2月7日（火）～9日（木）

前夜病院へ行き、検査の結果、コロナ及びインフルエンザはいずれも陰性でほっとしたのですが、じゃあ何？と余計に不安になってきました。お医者さんから「扁桃腺炎なんだけど、かなり重症。全く症状が消えるまでは仕事休みなさい。」と強く言われました。「人に感染させるものではない。」ということを知ってひと安心。学校には申し訳ないのですが、ひたすら静養に努めました。

● 2月10日（金） ～ 大丈夫？ 大丈夫！ ～

今日から登校しました。念のため午前中は、職員室と校長室にいて、事務処理等をしていました。職員のみなさんから「大丈夫？ですか」と声をかけていただいたのですが、根が正直者？ですので「大丈夫！ではないですよ」と答えていました。ところで、「大丈夫？」といえは、うちの職員と子どもたち、私がいなくてもきちんとやってくれている、いや私に苦勞を見せない（私が見えていない）のかも知れません。いずれにしても、心から「大丈夫！」なのですよね。午後は5年生のミュージカル本番、これだけは直接見たくて、今日は登校してきたのです。お医者さんのありがたいお言葉を聞かずに「大丈夫？」、これは仕事でなく生活なので「大丈夫！」ですね。

● 2月11日（土）～12日（日）

ひたすら休養に努めます。

● 2月13日（月） ～ ARE（アレ）～

「ひたすら休養に努めるんじゃないんですか？」あまりにも（仕事が）溜まっている

ので、土曜日登校。2時頃下校しようとして正門を出ると、いつも何かと応援してくださっている地域の方に、先のように声をかけていただきました。「もしかして、校長日記を・・・」「読んでいますよ。」心配をおかけしているわけですが、こうやって暖かい言葉をいただくと、**まだまだ熱く、さらに攻めねば**と燃えてきます。本当にありがたいです。そうそう、5年生のミュージカル、心がこもっていて仲間とともに生きているなあということがよく分かりました。**素晴らしい世界**を創ってくれました。また次の目標を自分たちで決めて、**動き出していく**のだろうことが、容易に想像できます。うらやましさをすら感じます。そしてこれ（演劇教育）が、職員の**汗と涙**もいっぱい流れる、喜志小教育活動のひとつなのです。私たちは、**心と身体が動く教育（生活）**を希求します。さあ今日は、雨。喜志小どうする？

●2月14日（火） ～ リアルな実感 ～

「今年度の卒業式にぜひ参加させて欲しい。」昨日、地域の方が学校へお越しになり、お話を伺いました。今年度の6年生には、一方ならぬ思い入れがあるとのこと、どんな形でもいいので見せて欲しいという強い思いを聞かせていただきました。「地域の方からこんな素敵な声を聞かせていただけるようになったか」と、感慨もひとしお。どのようにお招きするのがいいのか、一生けん命考えていきます。さて、今日は、『お別れ集会』に向けて、各学年等の体育館練習が、1時間めから6時間めまでぎっしり入っています。**久しぶりに全児童が集まって行うリアル『お別れ集会』**、今からとても楽しみです。また、**6年生のミュージカル練習、本日は音楽室にて極秘裏に行われます**。心を重ねにかかっている様子も気になるのですが、ここは見ないでおきます。楽しみはもう少しあとに取っておくといったところですね。まあ、いずれにしても、**主役はまさにこどもたち自身、私たち大人は、その舞台をともに創っていきます。もちろん楽しみながら・・・。**

●2月15日（水） ～ プロの流儀 ～

朝から市役所に用事があって電話しました。「喜志小学校 塩野です。」「はい、声で分かります。」さすがはプロの電話交換手さんだなあと感心することしきり。以前勤めた学校の保護者の方とはいえ、声だけで分かっていただけとは・・・。もちろんありがたく、うれしいことでした。2時間め、運動場では5年1組が体育の授業でした。先週末参観（ミュージカル）を終え、ほっと一息というところですが、こどもたちの様子を見て、「**早くも次へ動き出したなあ**」と感じました。ひとりひとりのこどもに確かな成長が見られます。具体的にと言われると私には難しいのですが、やわらかいムードが漂っているのです。長い教員生活ですが、最近やっと、**自分が感じ取ったことに間違いのないなあ**と思えるようになってきました。少しはプロの教育者に近づいてきたのかなあと思う反面、**いやいやまだまだやなあ、そもそもプロの教育者って何なんだ、なんて考えたりもします。日が差してきました。外も私も・・・。**

● 2月16日（木） ～ 校長とは ～

『校長日記』を書く**校長は不調？！**あごの下が円錐状に伸びて、膿んできました。朝、校内が一段落してから、病院へ行かせてもらいました。麻酔をして膿を出してもらって、少しすっきりしました。学校へ戻ってきて、たくさんのこどもたちから「首どうしたん？」と聞かれました。「首？」さらに、ばんそうこうが大きくて、マスクとつながっているように見えているのだそうです。「首折れたん？」もう事故になってしまっていますね。小さな子にこんな心配をかけてしまって申し訳ないのですが、気にかけてくれてうれしいなあとも思いました。体育館でミュージカル練習を終えた6年生に「調子どう？」と尋ねると、「いい感じです。」「声がしっかり出てきました。」等、とても元気に答えてくれました。「心を重ね始めたなあ」私の心もニンマリでした。もうすぐ、**校長は好調！**になるでしょう。

● 2月17日（金） ～ 身体と心と ～

いい天気になる日の朝は、一段と冷え込むものですね。2時間め、よく日が差している運動場では、2年生が合同体育です。準備体操では**大きな掛け声**とともに、しっかりと**身体を伸ばして**いました。今は、喜志小で一番**元気**な学年です。3時間め、3年2組の体育の授業、こちらは先生の説明をよく聞き、内容を理解した上で**実際に身体を動かしている**姿がありました。さて、学校全体ではインフルエンザも少し出ています。各家庭でも**体調管理と感染予防**を充分に行ってください。ただし、**元気な時には、適度に運動をして体力増進**に努めましょう。これも長い目で見れば、**病気等の予防**にもつながるわけですから。そして**心の健康**にもつながっていくのですから。

● 2月18日（土）

月に一度の子ども食堂『あのね』、今日は過去最高、21人のこどもたちが参加してくれ、とても賑やかでした。また地域のみなさんが見に来てくださいました。更に、本校区内で、月1回、平日の夕方に、子ども食堂の開設を予定されている方々も、見学に来てくださいました。地域でのこどもの居場所、その輪が広がっています。

● 2月19日（日）

ちょっとゆっくり本を読もうと思っています。コーヒーを飲みながら・・・

● 2月20日（月） ～ 学級閉鎖 ～

昨日コーヒーこそ飲みましたが、本は少ししか読めなかったです。今日は、**5年1組**で、インフルエンザによる欠席者が増えたため、**明日から3日間学級閉鎖**することとしました。本日出席してくれている児童については、保護者の方に随時お迎えにきてもらっているところです。他の学級・学年でも罹患している児童が出てきています。体調管理には充分気をつけていきましょう。もうすぐ6年生の卒業記念並びに創立150周年記念『ミュージカル』、また6年生との『お別れ集会』が行われます。全員で当日を迎えられたらいいのですが・・・今から心配です。

● 2月21日（火） ～ 陰の応援 ～

創立150周年記念クリアファイル並びにリーフレットを作成しています。既に校正も終え、印刷にかかってもらっています。今年度の在籍児童については、ひとりひとりに（家庭数ではなく児童数で）渡す予定です。手にした時の様子を想像して、今から楽しみです。また今日は、6年生ミュージカルで使う音響・照明等機材を体育館に搬入します。地元富田林を拠点に演劇を中心に活動されているNPO法人ゲキトモエンターテイメントさんに全面的に協力していただき、機材を用意していただくばかりか、助言をいただきながら、一緒に創り上げていきます。こどもたちにも職員にも、喜志小を応援してくれる、たくさんの方がいるということ学び、力にしていって欲しいと考えています。午後には、最終の通し練習を行う予定です。他学年の児童には、体育館や運動場の使用を制限しています。6年生が素晴らしい発表ができるよう、静かに陰の応援をしてくださいね。

● 2月22日（水） ～ 陰の応援（2） ～

6年生ミュージカルは、本日午後カメラリハーサル（DVDを作成いただく業者さん向け）を行いました。音響・照明等機材も実際に動かし、本番さながらでした。まわりの環境が整ってくると、自ずから心地よい緊張感が走るもので、こどもたちからも「いよいよだなあ、やるぞ！」というムードを感じました。私は、正門奥の渡り廊下の屋根に、ミュージカル用の横断看板を取り付けました。今年度は、初めて絵も入れました。絵は苦手なものの1つなのですが、6年生が喜んでくれたらうれしいし、笑われてもそれはそれでネタになればいいしなんて思っています。これも陰の応援としていいですかね？！

● 2月23日（木）

予定は未定の状態です。（追伸）結局1時間だけ登校しました。

● 2月24日（金） ～ アナログだからこそ ～

今日は、6年生ミュージカル本番。1・2時間めはリハーサルで、場面に分かれ細部の確認が綿密に行われました。3・4時間めはDVD撮影（カメラ撮り）で、吉村善美 富田林市長をお招きして、こどもたちの熱演を観ていただきました。当初は前半のみ観劇のご予定でしたが、「これはすごい」と予定を変更され、最後までご覧頂きました。こどもたちには、上演前にはげましの言葉を、上演後には感想をそれぞれいただきました。また随行いただいた秘書課職員の方が本校の卒業生で、第3回卒業記念ミュージカルに出演されたということから、今年度のミュージカルが、第20回ということが分かりました。「自分たちの時とは、比べ物にならないくらいすばらしいです。」と誉めていただきました。5・6時間めは本番です。小学校生活最後の学習参観としても位置付けており、6年生の保護者やご家族のみなさんに観ていただき、さまざまな角度から感想を寄せていただきました。何故喜志小は、ミュージカルも含め、取組や実体験など生（アナログ）にこだわるのか、これについては、学校だより

3月号にて解説をしましたので、ぜひご覧ください。ともに学校教育を考えていただければ幸いです。

●2月25日（土）～26日（日）

両日とも、ほんの少しの時間だけ『そうじ』に登校しました。

●2月27日（月）～お別れに際して～

今日は、『お別れ集会』を行いました。3年ぶりに全校児童が一堂に会して、生で行いました。まずは6年生によるミュージカル、これが最終公演です。1～5年生、そして多くの職員がはじめて見ました。また、今日は、学校協議会委員を含む地域のみなさんにもご覧いただきました。まさに『ブラボー』でした。これほどの感動は、やはり生じゃないとできないと今日もまた確信しました。このあと、1～5年生（各学年）・ひまわり会から6年生に、それぞれ工夫を凝らしたメッセージ（心と身体、声と歌など）を贈りました。短い時間によくこれだけ準備したなあとこちらも感心することしきりでした。さて、6年生は今日も入れて、あと14日（土日は除く）の登校となりました。あと14日しかありません。でもあと14日もあります。自分たちのこと、後輩たちのこと、喜志小学校のこと、小学校生活の最後をしっかりと楽しんで締めくくって欲しいものです。なお、先週、ミュージカルを観に来ていただいた吉村市長さんが、ご自身のフェイスブックに、このミュージカルのことを取り上げてくださっています。ありがとうございます。

●2月28日（火）～今日も感動～

先週金曜日の『ミュージカル』、昨日の『お別れ集会』に続き、今日は『児童朝会』がありました。開始時刻（8時30分）の3分前には、全員が体育館に集合し、静かに始まるのを待っている状態を創ることができていました。そして、3年ぶりの、全校児童が集まっての『児童朝会』（この3年間はZ o o mによる配信を各教室で視聴）でしたが、見事に自分たちだけの力で創ってくれました。毎日感動、今日も感動、「さあ、次もやってみよう！」